

2025 年 夏休み 旅行動向

海外旅行は欧州、国内旅行は近畿が人気

【海外旅行】 前年比 108% 中国の回復が顕著

【国内旅行】 前年比 95% 大阪・関西万博、沖縄ジャングルアが好調

株式会社阪急交通社（大阪市北区梅田 代表取締役社長 酒井淳）は、夏休み（2025 年 7 月 15 日～8 月 31 日出発）の海外旅行・国内旅行の予約状況から旅行動向をまとめました。



スイス・マッターホルン

夏休み期間の海外旅行は前年比 108%と、回復基調が続いています。一方、国内旅行は前年比 95%となっており、需要にやや陰りが見られます。年間の予約数では海外が前年比 121%、国内が前年比 100%となっており、いずれも夏休みの需要がやや弱い傾向で、物価上昇の影響によるものと考えられます。

【海外旅行】

出発日のピーク：①8月10日（日）②8月9日（土）③7月18日（金）

海外旅行は前年比 108%と堅調に推移し、コロナ禍以降の需要回復が続いています。昨年はアジアの回復が顕著でしたが、今年は欧州やエジプト、トルコ、中南米など、観光素材が豊富な遠距離各方面の回復も進んでいます。また、短期滞在ビザの免除が再開された中国は、日本各地からの航空機の復便効果により観光需要が再開し、前年比 3.8 倍と大きく伸びました。エジプトも好調で、5・6 日間の短い日程のみならず、ナイル川クルーズ付きの 8 日間以上の日程など商品バリエーションが揃ったことで需要が拡大し、前年比 2 倍となりました。そのほか、韓国に立ち寄り、日本各地の夏祭りを楽しむ日本発着クルーズも活況です。

観光需要の大きいヨーロッパは前年比 1.3 倍と集客数でトップとなり、特にスイス・アルプスなどの自然豊かな景勝地を巡るツアーが好調で回復が進んでいます。

出発日のピークは、8 月 10 日（日）、8 月 9 日（土）、7 月 18 日（金）となっており、お盆休みや連休を活用する日程が中心に選ばれています。

■海外 旅行先ランキング（予約人数）

予約人数	海外旅行
1 位	ヨーロッパ
2 位	台湾
3 位	韓国
4 位	中国（伸び率 1 位）
5 位	ベトナム



中国・万里の長城

【国内旅行】

出発日のピーク：①8 月 3 日（日）②8 月 2 日（土）③7 月 23 日（水）

国内旅行は、年間では前年並みに推移していますが、夏休みは 95%となっており、消費者物価指数の上昇も影響していると考えられます。こうした中でも、行き先別では近畿が前年比 1.2 倍と伸びており、「大阪・関西万博」が大きく牽引しています。万博は旅行との親和性が高く、バスや新幹線、航空機、フェリーを利用して万博を訪れるツアーが活況で、夏休み期間中も全国各地からの予約が顕著です。万博と周辺観光地を巡る旅行商品も人気を集めています。

また、沖縄も前年比 105%と堅調に推移しています。特に 7 月に開業予定の新テーマパーク「ジャングリア沖縄」が話題になっており、夏休み期間の家族連れにも人気です。新たな観光素材の誕生により、沖縄の魅力が増し、需要増への追い風となっています。

そのほか、富士登山も人気が高まっており、予約数は前年同期比 1.4 倍に増加しています。世界文化遺産としての注目はもとより、登山シーズンが夏の短い期間に限られていることが、より希少価値を高めています。また、今年から導入された登山者の安全確保に向けた新ルールや人数制限により、安心して登山を楽しめる環境が整ったことで、全国各地から航空機や新幹線を利用する登山ツアー参加者が増加しています。

人気旅行先ランキングは、1 位 近畿、2 位 北陸・甲信越、3 位北海道でした。伸び率では、1 位 近畿、2 位 東海、3 位 沖縄となっており、近畿、沖縄と話題性の高い方面の伸びが目立っています。また、長期滞在や祭りなど、テーマのある旅や体験型の旅への需要も高まっています。

出発日のピークは、8 月 3 日（日）、7 月 23 日（水）となっており、お盆や学校の夏休みの開始時期に合わせて、旅行時期が選ばれています。

■国内 旅行先ランキング（予約人数）

予約人数	国内旅行
1 位	近畿
2 位	北陸・甲信越
3 位	北海道
4 位	東北
5 位	関東



沖縄・古宇利大橋

対象期間：2025 年 7 月 15 日～8 月 31 日出発
対象ツアー：阪急交通社 募集型企画旅行
調査日：2025 年 6 月 24 日

■夏休み特集（海外旅行・国内旅行）

[お盆・夏休みにおすすめ旅行・ツアー特集 2025 | 阪急交通社](#)



■全国の祭り・花火大会 2025 特集

[全国の祭り&花火大会ツアー・旅行特集 2025 | 阪急交通社](#)



＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9

TEL：03-6745-7333 / FAX：03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25

TEL：06-4795-5711 / FAX：06-4795-5724